

# 佐世保市立早岐中学校の結果・考察・改善策について

住 所：佐世保市陣の内町100
校長名：吉村 司
生徒数：630名
学級数：20学級

## 1 教科でよくできていた内容

- 国語 A：登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。文脈に即して漢字を正しく書く。語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。歌に表れた作者の思いを想像する内容。
- 国語 B：文章の構成を捉える。課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える内容。
- 数学 A：自然数の意味を理解する内容。方程式の解き方を理解する内容。確率を求める内容。
- 数学 B：与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理する内容。

## 2 教科で課題があった内容

- 国語 A：目的に応じて資料を効果的に活用して話す。文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く。奥付を使って本についての情報を得る。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む内容。
- 国語 B：文章の展開に即して内容を理解する。目的に応じて文章を要約する。目的に応じて必要な情報を読み取る内容。
- 数学 A：扇形の弧の長さを求める内容。円柱の体積を求める内容。関数の表し方を理解する内容。反比例の表から比例定数求める内容。
- 数学 B：筋道を立てて考え証明する内容。与えられた情報から必要な情報を選択し、文字を使って表現する内容。問題場面における考察の対象を明確に捉える内容。

## 3 生徒質問紙調査の結果からわかる生徒の実態

- 将来の夢や目標を持っている生徒が全国平均を上回っている反面、家の人と将来のことについて話す機会が少ない。
- 学習面では、通塾生徒は多いが、学校の宿題や予習・復習、自ら計画を立てて勉強する状況が全国平均を大きく下回っており、自主学習の習慣が定着されていない。
- 部活動への参加が全国平均を上回っており、活動に活発である。

## 4 結果をもとに改善に向けた学校の取組

- 生活及び学習習慣の見直し（家庭への啓発と協力依頼：テレビ視聴、携帯電話の使用について）
- 協同学習の推進（生徒間のコミュニケーション能力の育成）
- 探究活動および課題解決能力の育成（協同学習班で取り組ませるジャンプアップ課題の提示）
- 授業形態（コの字型の座席隊形からの協同学習）の工夫。

## 5 昨年度までに、学校として取り組んだこと（学力向上対策）で効果があったこと

- 協同学習の推進（協同学習班を単位として協議させる中でコミュニケーション能力を育成）
- 「みんなの学習クラブ」ソフトの活用（基礎学力の定着と向上）
- 外部講師等を招いての授業研究会や校内授業研究会の推進（年間3回の実施）